



# 由布市 議会だより

No.59  
2020年8月



令和2年7月豪雨により亡くなられた方々に  
謹んでお悔やみ申し上げますとともに被災された  
皆さまに心よりお見舞い申し上げます。  
そして、被災された地域の早期の復旧と  
復興をお祈りいたします。

又、この災害と共にコロナ対応に  
ご苦労されている方々にも  
早く平常な生活が戻りますよう、  
議会としても全力を傾けて対応してまいります。

皆さん、一緒に頑張りましょう。

## CONTENTS

●令和2年第2回定例会	概要	.....	1~2
	議案質疑	.....	3
	常任委員会報告	.....	4~6
	市政を問う(一般質問)	.....	7~10
●請願・陳情の結果、賛否一覧、編集後記	.....	.....	裏表紙

## 令和2年 第2回由布市議会定例会の概要

令和2年第2回由布市定例会は令和2年6月10日から24日までの15日間開催されました。今議会には一般会計補正予算案(第4号)「補正額2億2,252万1千円、累計231億7,133万7千円」と由布市国民健康保険条例の一部改正、由布市後期高齢者医療に関する条例の一部改正、由布市介護保険条例の一部改正など議案9件、報告8件と承認2件(市道農地復旧事業、新型コロナウイルス緊急対策事業)が提出され審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

さらに議員発議として「地方財政の充実・強化を求める意見書」と「義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書」の2件が提出されいずれも可決されました。

### 【主な事業】

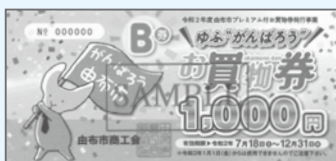
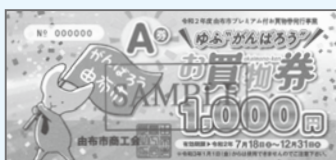


### 新型コロナウイルス緊急対策事業 (GIGAスクール)

1億6,214万7千円の内、1億6,075万7千円は備品購入費で、市内小中学校で一人一台のタブレット(情報端末)を整備します。

### 新型コロナウイルス緊急対策事業 (Web会議整備)

92万3千円は、由布市庁舎内でWeb会議が出来るように機器購入し環境整備を行います。



### 新型コロナウイルス緊急対策事業 (商工振興)

3,200万円は、プレミアム商品券を商工会にて10,000セット販売します。

※販売については、すでに終了いたしました。

## 新型コロナウイルス緊急対策事業 (観光振興)

4,300万円は、市内の飲食店や土産物店で使用できる「おもてなしクーポン」を市内旅館ホテルの宿泊者に贈ります。



## 市営基盤整備事業(農林整備課)

680万円は、庄内町淵地区農地等復旧事業で農道・水路土砂排除の応急対応費。

## 道路維持事業(建設課)

1,991万4千円は、市道瓜生田上々淵線復旧事業の測量・設計業務委託と応急復旧工事費。

うりゅうだ かみかんぶち



## 議会費(議会事務局)

△571万8千円は、議会各委員会や議員個人の研修旅費を新型コロナウイルス対策費とするもの。財政調整基金に積み立て活用します。

## 議案質疑

## 由布市一般会計補正予算(第2号)

## 漕地区農地等復旧事業について

**問** この工事における地主の負担は

**答** 農道、水路の土砂除去等の応急復旧を行ったもので耕作者への負担はないが、今後の農地復旧については地元負担を軽減するために国県の支援を頂けるよう調整している。

## 由布市一般会計補正予算(第3号)

## おもてなしクーポン券について

**問** 経済効果はどのくらいか

**答** 対象の宿泊施設約200件で、宿泊客1人当たり2,000円配布しようと考えている。約2万人の誘客効果があり宿泊単価15,000円で試算すると約3億円の効果が期待される。

## 由布市一般会計補正予算(第4号)

## 地方創生臨時交付金について

**問** 国に提出した事業計画の内容は

**答** 感染症予防対策、中小企業への給付金、店舗等の賃料支援、商品券等の経済対策、学校の情報通信機器整備等、地域経済活性化に関わる経費を対象事業として申請している。また、第2次補正は8月頃に配分の予定。

## 子育てサポート事業について

**問** なぜ市の直営になったのか

**答** ファミリーサポートセンター事業は外部委託をしていたが、事業継続が厳しいと相談を受け、年度途中ということもあり6月以降は市直営で事業を行うこととした。

## 生活困窮者就労準備支援事業について

**問** 6月補正となった理由は

**答** 今年4月の制度改正分ですが、実際の業務委託が10月からなので6月補正でのお願いとなった。

## Web会議整備について

**問** 具体的な内容は

**答** 行政専用回線を活用した会議システム使用料とウェブカメラ等備品購入費。庁舎間会議には行政専用回線を、外部との会議には仮想ブラウザを利用して行う計画である。  
※仮想ブラウザ:インターネット画面とパソコン本体を切り離すシステムで、パソコン本体がウイルスに感染する等の脅威を防ぐ。

## ギガスクールについて

**問** タブレット端末の運用方法は

**答** 今年度中に小中学生一人一台を目指す計画であり、指導方法や自宅での活用も協議をしながら考えていく。ICT支援員として、特にICT技術に知見を有する人材を確保したいと考えている。  
※ICT:インターネットを通じて人と人、人と情報を繋ぐ技術(情報通信技術)

## ゆふの丘プラザについて

**問** 譲渡等を含めた計画があるか

**答** 10月に指定管理の公募を行う準備を進めており、活用方法等、その後の調査検討を進めたいと思う。

## 学校子ども支援センター事業について

**問** 減額と増額の理由は

**答** 臨床心理士が退職され後任が見つからなかったことによる減額と、その業務を県のスクールカウンセラーに援助してもらうための謝金増額。

## 総務常任委員会

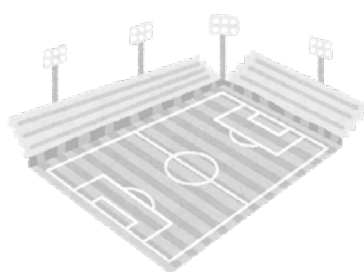
### 由布市使用料及び手数料条例の一部改正について

「情報通信技術の活用による、行政手続等に係る関係者の利便性の向上、並びに行政運営の簡素化、及び効率化を図るための行政手続等における、情報通信の技術の利用に関する法律等の、一部を改正する法律」の一部が施行されることに伴い、必要な改正を行うものと、併せて、「行政財産の目的外使用において徴収する使用料の金額」について、算定の見直しを行ったことにより、条例の改正を行うもの。

**全員一致で原案可決**



### 大分市の公の施設を由布市の住民の利用に供させることに関する協議について



由布市を含む7市1町で形成された「大分都市広域圏」において、圏域内の体育・文化施設の相互利用を図り、住民の利便性向上につなげていくため、「公共施設案内・予約システム」共同利用を行っている。

新たに、大分市の公の施設「のつはる天空広場」を、由布市の住民の利用に供させるもの。

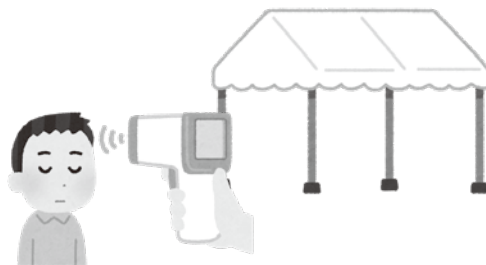
**全員一致で原案可決**

### 令和2年度由布市一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算にそれぞれ7,864万1千円を追加し、予算の総額を229億4,881万6千円とするもの。

当委員会にかかわるものとしては、災害時の避難所感染防止対策として避難所用テント100張と非接触型体温計30個の購入等により専決処分を行ったもの。

**全員一致で原案可決**



### 令和2年度由布市一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出にそれぞれ2億2,252万1千円を追加し、予算総額を231億7,133万7千円とするもの。

歳入では、国庫補助金の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、1億6,200万7千円は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するとともに、地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、緊急経済対策の全ての事項についての対応として、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう国から交付されるもの。

基金繰入金の財政調整基金は、交付金1億6,200万7千円の計上による収支の調整から3,361万6千円を減額するもの。

歳出については、総務費のWeb会議整備に92万3千円。消防費の消防指令システム共同負担金39万3千円は、「消防の連携・協力」に対する取り組みとして、県内14の消防本部による消防指令業務の共同運用の新施設・システム整備に伴う委託費の由布市負担分。委員会として、119番通報に対する現場到着時間短縮について、協議会の中で十分協議を行い万全の体制を構築するよう意見を付した。

**全員一致で原案可決**



## 教育民生常任委員会

### 由布市国民健康保険条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症に感染したとき又は発熱等の症状があり感染が疑われ、会社を休んだ場合傷病手当金として支給できる。支給について時限的に実施するもの。

**全員一致で原案可決**



### 由布市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

大分県後期高齢者医療広域連合において条例の一部改正を行う。傷病手当金の支給について「由布市の行う事務」に「傷病手当金の支給に係る申請書の受付」を加えるもの。

**全員一致で原案可決**



### 由布市介護保険条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が下がった被保険者に対して介護保険料を減免するため介護保険法第142条の規定により条例改正を行うもの。

**全員一致で原案可決**



### 令和2年度由布市一般会計補正予算(第4号)

歳入では、児童福祉費補助金442万6千円は子育て世帯臨時特別給付金事業費補助金。全額国の補助金によるもの。教育費補助金8,041万9千円のうち教育支援体制整備事業費補助金157万4千円は幼児教育向上のための緊急環境整備として保健衛生用品購入の補助。全額国の補助金によるもの。公立学校情報機器整備費補助金7,891万7千円は機器購入と会計年度任用職員に対するもの。

歳出では、児童福祉総務費のうち新型コロナウイルス緊急対策事業497万円は子育て世帯臨時特別給付金で公務員対象者の見込み数と実際の対象者数の相違によるもの。事務局費のうち新型コロナウイルス緊急対策事業(GIGAスクール)1億6,075万7千円は備品購入費で、小中学校で一人一台のタブレット(情報端末)を整備するもの。学校給食費は緊急対策事業として503万4千円は学校臨時休業対策費補助金で調理業者へ令和2年3月から5月分のパン・米飯業者・牛乳納品業者の支援によるもの。

GIGAスクールにおいて、タブレット購入は県で共同調達するが、家庭において通信を活用することは今後の課題であるとの説明があった。

**賛成多数で原案可決**



### 令和2年度由布市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ73万4千円を追加し39億7,711万5千円とするもの。73万4千円(傷病手当金)は国の特別調整交付金である。

**全員一致で原案可決**



### 令和2年度由布市介護保険特別会計補正予算(第1号)

国庫補助金241万6千円の増額、一般会計繰越金の241万6千円の減額でシステム改修費の国庫補助金を受けることにより組み替えをするもの。

**全員一致で原案可決**



## 産業建設常任委員会

### 専決処分の承認を求めることについて「令和2年度由布市一般会計補正予算(第2号)」

歳出では、涸地区農地等復旧事業の農道・水路土砂排除の応急対応費として、市営基盤整備事業費680万円の増額。道路維持事業費1,991万4千円の増額は、市道瓜生田上々涸線等復旧事業の測量・設計業務委託と応急復旧工事費。



全員一致で原案可決



### 専決処分の承認を求めることについて「令和2年度由布市一般会計補正予算(第3号)」

歳出では、新型コロナウイルス緊急対策事業として、プレミアム商品券発行費で商工振興費3,200万円の増額。おもてなしクーポン券発行事業費補助金として観光費4,300万円の増額。

委員会では湯布院の現地を視察し、状況の把握を行った。プレミアム商品券発行時には混乱が予想されるため、商工会としっかり協議を行い、市民には周知の徹底を図り、スムーズな販売を心掛けていただき、その際、コロナ対策を十分行い、3密を防ぐよう意見を付した。

全員一致で原案可決



### 「令和2年度由布市一般会計補正予算(第4号)」

歳出では、環境施設維持管理事業44万4千円は私有地埋設下排水管用地の測量調査委託料と不動産鑑定評価委託料の増額。市営基盤整備事業5,460万円は涸地区農地等復旧事業の工事請負費の増額。鳥獣被害総合対策事業14万1千円はイノシシ被害防止対策事業補助金における電気柵の単価増に伴う増額。地買地消推進事業550万円はプレミアム率の高い商品券事業への組替えによる減額。

市営基盤整備事業の涸地区農地等復旧事業に関して、土捨て場の確保をする等の工事費の圧縮に努め受益者負担が少なくなるように、加えて地元の理解を得られるよう丁寧な対応を続けてもらいたい。また、これを機に新たな災害の発生が無いよう現場周辺の湧水等のチェックや、水路の維持管理等について今後も細心の注意を払うことを指導するようにと意見を付した。

全員一致で原案可決

# 一般質問 市政を問う

今定例会では、新型コロナウイルス感染症対策に関する質問が集中することが予想されたため、全議員からの質問をとりまとめた上、各常任委員会より代表者1名選定し一般質問を行いました。

総務常任委員会

8  
ページ

委員長

長谷川 建策

委員

鷺野弘一 田中真理子 佐藤人已  
加藤幸雄 平松恵美男

- 特別定額給付金の進捗状況について
- 地方創生臨時交付金の情勢と活用について
- 防災体制と感染予防対策について
- 庁舎内にオンライン化とテレワーク導入について
- コロナ禍で今年度計画されている各事業の進捗や新規事業の影響は 等

教育民生常任委員会

9  
ページ

委員長

淵野 けさ子

委員

田中廣幸 佐藤郁夫 吉村益則  
坂本光広 高田龍也

- 学校休校に伴う対応について
- 今後の小中学校運営について
- 学校のICT化(GIGA<sup>キガ</sup>スクール構想)について
- 野外公園等の整備要望について
- 医療、福祉現場の状況について

産業建設常任委員会

10  
ページ

委員長

太田 洋一郎

委員

佐藤孝昭 工藤安雄  
甲斐裕一 加藤裕三

- 第二次事業所への支援策について
- プレミアム商品券について
- 第二弾以降の検討について
- その他、緊急雇用対策、文化芸能スポーツ振興支援、財源確保、他県からの移動自粛要請について



## 総務常任委員会

## 委員

委員長



長谷川建策 議員



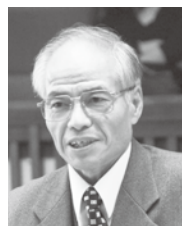
鷲野弘一 議員



田中真理子 議員



佐藤人己 議員



加藤幸雄 議員



平松恵美男 議員

**問** 特別定額給付金の進捗状況について

**答** 6月10日時点で申請件数が14,569件、うち支給決定件数が14,439件で支給率91.8%となっている。全職員に応援を指示し一刻でも早い支給を目指し細心のチェックを行ってまいりましたが、二重給付のミスが1件生じた。直ちにお詫びし返還に応じていただき、これ以降はチェック項目を増やし再発防止に努めている。

**問** 地方創生臨時交付金の情勢と活用について

**答** 多くの団体から要望があり、それに応える様に経済対策や予防対策等、総額4億3,409万円を計上しており、その全額が交付金の対象となると考えている。由布市への臨時交付金は、一次配分で1億6,200万7千円交付であり全てに充当できない。今後対象となる国庫補助事業の地方負担額に基づく二次配分は8月。

**問** 財政調整基金の状況と公債費について

**答** 財政調整基金の残高は約16億5,000万円。由布市の目標の25億を下回り財政状況は厳しい。減収補填に係る地方債の発行については慎重に検討していく。

**問** 防災体制と感染予防対策について

**答** 災害時における感染症対策を含む避難の呼びかけは、市報や全戸配布のチラシで、特に避難先として安全な親戚等の家も考える事や感染防止の為マスクや体温計を持参するをお願いを

している。衛生用品の備蓄は必要数まで発注している。又、避難所開設時には感染防止に対応した新しい様式で行なう。

**問** 水道料金の免除等は考えているか

**答** 水道事業は皆様の使用料で運営されており、免除となると経営面に大きな影響が出ると考えられる為、支払猶予を支援策として実施している。

**問** 県外ナンバー変更補助はできないか

**答** 道路運送車両法に、住所変更後15日以内に変更申請を行わなければならないという規定があり、この手数料に対する補助は考えていない。

**問** 庁舎内にオンライン化とテレワーク導入について

**答** 庁舎間や一対一でのオンライン化は整備できている。今後複数で参加するウェブ会議が求められており、必要な機械やネットワークは今回の補正予算でお願いしている。

**問** コロナ禍で今年度計画されている各事業の進捗や新規事業の影響は

**答** 感染防止の観点から幾つかの事業で中断や見合わせを行っている。今後の実施・再開については、国県や関係団体と協議を進めて行く。新規事業については、新型コロナウイルス対策の状況に関わらずスクラップアンドビルドを基本に第二次総合計画の具体化に向け、真に必要となる事業の構築に取り組む。

教育民生常任委員会

委員

委員長



泷野けさ子 議員



田中廣幸 議員



佐藤郁夫 議員



吉村益則 議員



坂本光広 議員



高田龍也 議員

**問** 学校休校に伴う対応と現況は

**答** 対策は大きく三つ。(一)家庭における子ども達の生活、学習指導。(二)学校が足並みそろえコロナ対策に臨めるよう学校、保護者、地域の皆様と緊密な連携を取って来た。(三)休校後学校が再開した時のコロナウイルスに対する安全対策。

**問** 子どもの安否確認や、メンタルケア等休業中の子ども達の変化は見られたか

**答** 学校規模により状況は異なるが基本的に三日に一度電話連絡や保護者の希望による面談を行ってきた。家庭内の事故・ケガ・非行の報告は無いが虐待での通告は2件。子ども達全員に心の健康調査を実施し不安や困りを把握した。今後専門家のケアが必要と思われる子どもさんには別途臨床心理士によるカウンセリングを行う予定。

**問** 今後の小中学校の体制と運営は

**答** 現時点で夏休みを小学校で約2週間、中学校で約4週間短縮予定。特に中学校は高校受験等が控えてるので支障のない様万全を期して取り組む。詰め込み教育にならない様に体験活動を含め研究・実践をしていきたい。

**問** 小中学校のICT化を進め授業の実施を

**答** 市の児童生徒全員分のタブレット約2,600台分を今回の補正予算に計上し購入予定。タブレットの機能を最大限に活用して家庭学習等の活用を考えている。

**問** 「<sup>ギガ</sup>GIGAスクール構想」は当初令和5年までの計画だが、国は今年度予算を増強し端末の整備を行うとしているが由布市の対応は出来るか

**答** 小中学校児童生徒のタブレット学習ソフトに加え各学校用としてライブ配信用カメラ、マイクの購入費を予算要求し今年度中の端末整備に努めたい。

**問** 新型コロナウイルス第2波にそなえ今後の対策として、子ども達が自宅外で過ごせる野外公園や生態系公園の整備計画を強く要望する

**答** これまでも要望いただいている。今後とも調査研究を重ねていきたい。

**問** 医療従事者、福祉事業者の困り事はないか。発熱外来の稼動状況は

**答** 6月10日現在で15名の検診でPCR検査実施、結果全て陰性でした。今後長期化を想定し円滑な運営が出来る様医師会と連携しながら取り組みを進めていく。

## 産業建設常任委員会

## 委員



委員長

太田洋一郎 議員



佐藤孝昭 議員



工藤安雄 議員



甲斐裕一 議員



加藤裕三 議員

**問** 第二次事業所への支援策は急務ではないか。由布市独自の第二次事業所への支援や農業者の支援が必要と考える。第一次では店舗等の家賃補助や緊急給付金を実施されたが、新型コロナウイルスによる観光産業や生産者業績悪化が長引き、事業者を取り巻く環境は非常に厳しいのが現状だ。

早急に第二次事業所等の支援策を実施する必要があると考えるがどうか。

**答** 今後は感染拡大防止と共に、地域経済の回復に向けた取り組みが必要と考える。そのため、第二次事業所支援策として、市内の宿泊施設の宿泊されたお客様に対して、市内の飲食店や土産店等で使用できるおもてなしクーポン券の発行を予定している。さらに、売上の激減した飲食業や小売業への対策として、市民を対象としたプレミアム率30%の商品券発行も予定し、市民生活の安定と地域経済の早期回復に向けた対策を講じていく。

**問** プレミアム商品券の発行が1万セットだと聞く。由布市の世帯数は約1万5千世帯、せめて世帯分のセット数の発行が必要ではないか。

**答** 由布市の人口が現在約3万4千人、18歳以上の方に販売予定で、市内対象人数

が2万9千人。お一人2セットまでとし、幅広く販売したい。財源的なこともあり3千万円で1億3千万円の消費を促したいと考える。

**問** 財源を考慮するのは分かるが、経済効果は少ないような感じだ。事業規模を拡大しても良いのではないか。販売直後に完売し、多くの市民が購入できず、苦情が寄せられることが予想される。その場合は第二弾、第三弾のプレミアム商品券の発行が必要と考えるがどうか。

**答** 毎年、プレミアム商品券の発行で購入できないとの苦情が寄せられる。過去、お一人で多くを購入した事例があったので、今回は2セットまでとする販売方法とした。

**問** やはり、1万セットでは多くの市民の方に行き渡らないと予想される。第二弾、第三弾の検討を。

**答** コロナの影響での経済対策で今回はプレミアム率の高い商品券の発行となった。今後、コロナの状況を見ながら、次の対応策を検討したい。

## ■令和2年第2回定例会で審査した請願・陳情の結果

区分	件名	代表提出者	結果
請願 R1 8	市道認定に関する請願について	東石松1自治委員 後藤 正人 東石松3自治委員 加来 貞文	不採択
請願 R2 3	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	大分県地方自治研究センター 理事長 中山 敬三	採択
請願 R2 4	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願	大分県教職員組合由布支部 坂本 博之	採択
陳情 H29 8	私達は、市に対して、本件土地の売買契約書中の契約解除条項を誠実に履行することを求めます。	「共進会跡地のメガソーラー建設に反対する会」 代表 江藤 和子	継続審査

## ■賛否一覧表

〔令和2年第2回定例会〕

令和2年第2回定例会では議案9件・承認2件について、全員賛成で可決・承認されました。

## お知らせとお願い

広報委員会は、読みやすく解りやすい紙面づくりとして、写真等を使いながら、文章を短くし横書きに統一しました。それに伴いまして、前号(58号)より左綴じに変更をさせていただきました。多くの皆様に読んで頂きたく工夫をしております。これからもご意見よろしくお願ひ申し上げます。

## 編集後記

『令和2年7月豪雨』による河川の氾濫や土砂災害により、大きな被害が生じております。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された全ての皆様にお見舞いを申し上げます。

今年初めから、猛威を振るう新型コロナウイルス禍中で起きた自然災害の中であっても、救助活動のほか、孤立した集落へのライフラインの回復や、土砂撤去、廃材の撤去や、安否不明者の捜索などにご尽力された、行政機関の皆様、消防団の皆様、建設業関係の皆様、ボランティアの皆様には、改めてお礼を申し上げます。

日本有数の観光地であり、自然豊かな由布市では、新型コロナウイルスや自然災害などの自然の脅威に打ち克つのは困難な事だと思いますが、過去の教訓を糧に自然災害などに負けない、人づくり、街づくりが必要だと思います。

困難な日々が続きますが、来年には、笑って生業に励むことが出来る様に、今は何事も実直に取り組んでいきましょう。

高田 龍也

## 議員は公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されております。

- ・地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- ・お祭りへの寄附や差し入れ
- ・お中元やお歳暮
- ・年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- ・病氣見舞い
- ・葬式の花輪や供花
- ・本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- ・初盆のお供えやご仏前

市民の皆様のご理解をよろしくお願ひいたします。

## 議会広報編集特別委員会

委員長 田中 真理子 副委員長 吉村 益則  
委員 洲野 けさ子 佐藤 郁夫 長谷川 建策 田中 廣幸  
坂本 光広 高田 龍也 佐藤 孝昭



このQRコードは市議会のホームページにつながります。

次の由布市議会は9月9日(水)より開会予定です(第3回由布市議会定例会)